

日本を冠する酒『日本酒』の地位向上 ～とにかかくまい日本酒を呑もう！！～



清酒産業労働組合連合会

白鶴酒造労働組合 中野 努 大関労働組合 森 竜二

清酒産業は創業300年以上の企業が多数あります。時代でいえば江戸時代の米将軍こと徳川吉宗の時代から酒造りを生業としています。

「酒は百薬の長」と言われるだけの効果も確認されていますが、昨今の若者のアルコール離れも相まって、国内消費量は右肩下がりです。このまま歴史のある日本を冠するお酒を衰退させてしまっていないのでしょうか？社会がグローバル化している中で、**海外でトレンドとなっている日本酒について日本人がまったくわからない状態になることが懸念されます。**

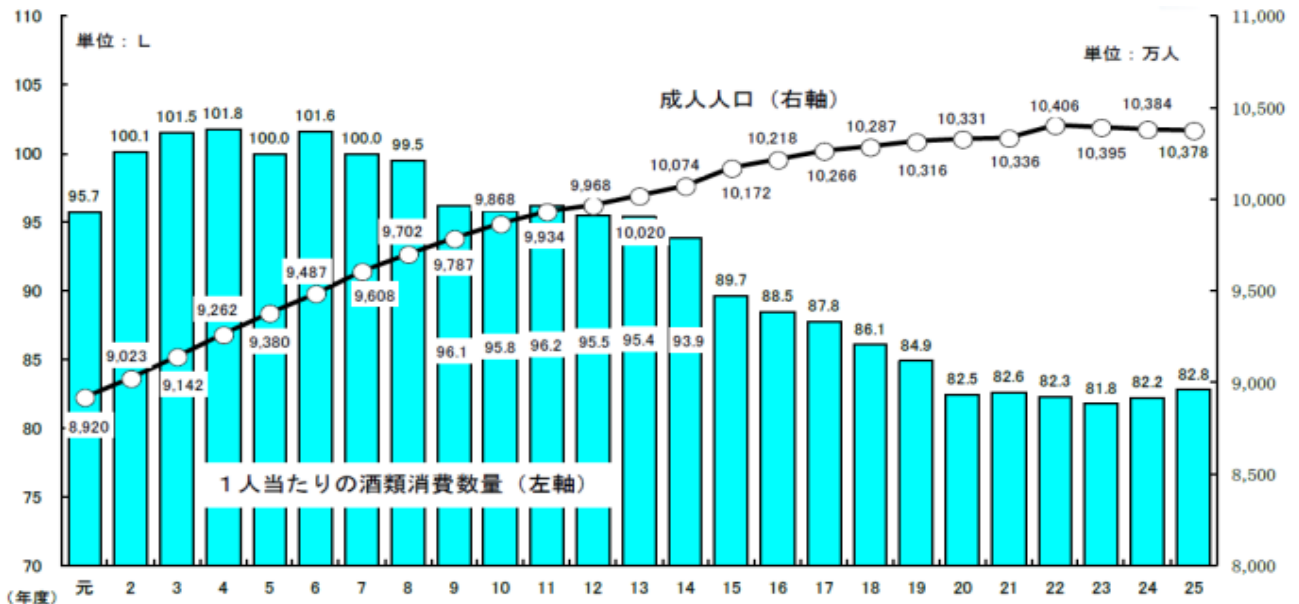
日本酒のイメージについて多く言われることとして、①二日酔いしやすい②高い③おじさんの飲み物が挙げられます。①については誤解で、緩和策も提言されています。②についてはお酒の種類によって異なります。ただ、**値段相応の価値**に加えて、**コミュニケーションなど付随する価値**もお酒にはあります。③については事実50代以上が主力となっていますが、これも『おじさんの飲み物』というイメージが現実化したものだと考えられますし、**逆に近年は流行に敏感な若い女性からの支持を得ています。**色々な側面から、日本を冠するお酒『日本酒』の魅力日本人に改めて知ってもらいたいものです。

日本酒ってそもそもどんなもの？

- A. 並行複醗酵という世界でも珍しい醸造方法で作られる**主原料がお米**のお酒です。

なぜ地位向上が必要なの？

- A. 日本酒は**海外市場で価値**を見出され非常に喜ばれています。ところが**日本国内での消費は右肩下がり**です。このままだと、日本の若者より**海外の若者の方が日本酒の知識が多い**ことにもなりかねません。長い歴史を持つ日本の文化を、国内で守れなくなってしまうかもしれません。



資料：成人人口は、「人口推計年報（各年10月1日現在）」（総務省統計局）による。

注釈：沖縄分は含まない。

出典：国税庁「酒レポート（平成27年3月）」

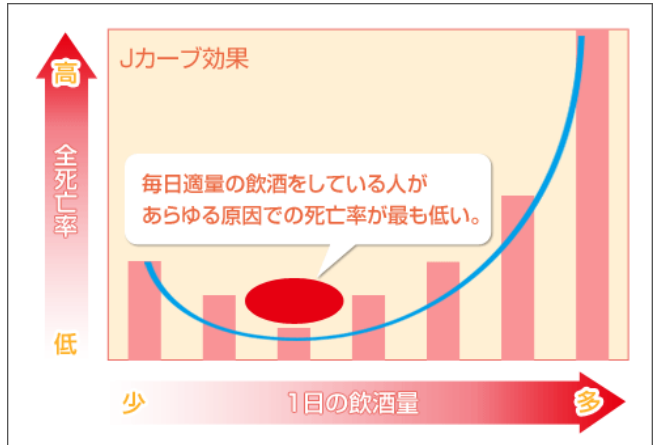
<https://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/shiori-gaikyo/shiori/2015/pdf/000.pdf>

実はお酒とは…

「酒は百薬の長」！

お酒（日本酒）を全く呑まない人に比べて、毎日1合（180ml）程度の飲酒により死亡率が下がるデータも出ています。

出典：厚生労働省 「生活習慣予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット[情報提供]」
<http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/alcohol/a-03-001.html>



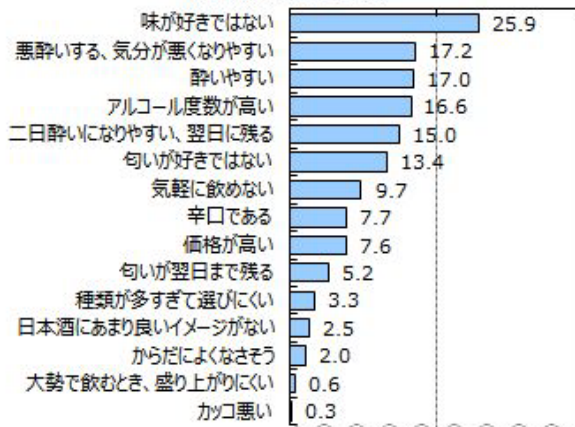
※元々飲酒しない人にアルコールを摂るものではありません。

出典：ダイエットSlism 「お酒大好きでもダイエット！ あなたはどの酒が好み？ お酒は百薬の長」 <http://slism.jp/featured/liquor/liq-sake/>

日本酒のイメージと実際の効能

「大手メーカーの日本酒＝アルコール添加」＝「アルコール添加＝悪」と考えられがちですが、アルコール添加は清酒の香り成分（吟醸香）を活発にさせる働きがあります。その他にも様々なプラス効果があり、決して「アルコール添加＝悪」ではないことを知ってください。

日本酒を飲まない理由



出典：マイボスコム株式会社, 2014, 「日本酒（第4回）」,
<http://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000088.000007815.html>

日本酒には…

・飲むと体温が上がり、皮膚表面の血液循環がよくなることで肌をきれいにしている効果があることが示されています。

・ガン細胞を著しく抑制する実験結果から、制ガン効果があることがわかっています。

出典

林 盈六, 2000, 「日本酒読本」, 日本酒造組合中央会,
<http://www.sakayaclub.co.jp/urakawa/nihonsyu/nd03.htm>

滝沢行雄, 「日本酒と健康 Q7」, 日本酒造組合中央会,
<http://www.japansake.or.jp/sake/know/health/07.html>

コミュニケーションツールとして

一昔前には『呑みコミュニケーション』と言われるほど、コミュニケーションツールとして重要なアイテムでしたが、金銭的な問題や無関心により、現在は重要視されていないどころか望まれないものとなってきています。コミュニケーション不足が問題となる現代、お酒の場をもう一度活用する時ではないでしょうか。

日本酒にはマイナスイメージを持っていましたが、それは詳しく知らないまま食わず嫌いをしていただけかも。

日本酒を正しく知り、正しく呑み、そして、楽しもう！

正しく**知る**事（イメージではなく）
正しく**呑む**事（適正飲酒量、呑み方）
そして、**楽しむ**事（食事と合わせる、好みを見つける、仲間と呑む）

お酒を呑んでみましょう。一種類だけではなく、いろいろな種類を。いろいろな特徴があるお酒の中にピッタリと来るものが見つかるかもしれません。ただ、その際に1人で寂しく呑むのではなく、友人や会社の上司と呑んでみてはいかがでしょうか。日本酒以外にも新しい発見（再発見！？）があるかもしれません。

二日酔い緩和策！

和らぎ(やわらぎ)水 の効能

日本酒を呑むときにグラス1杯の水と交互に飲むと二日酔いしにくいと言われてます。水を適度に挟むことで体に負担をかけずにお酒を楽しむことができるのです。

参考：日本酒造組合中央会
<http://www.japansake.or.jp/sake/yawaragi/>



「酒を呑んでみよう」というのは単なる呼びかけではありません。何事もそうですが、イメージなどに捉われて、接触する機会を失っては、そのものの本質はわかりません。まずは飲んで、知って、本質に触れてください。

いろいろなものを体感するからこそ、比較ができます。”うまい酒”を知るためにはそうではないものも知らなければなりませんし、コストパフォーマンスの良さをはかる上でも高いお酒を呑んでみることも必要です。その中で自分に合うお酒と出会えた時は何とも言えない喜びとなり、人に伝えたくなるでしょう。

「酒は百薬の長」という言葉があるように、適正な飲酒であれば長生きするというデータがあります。お酒は肉体的なもののみならず、精神的な部分にも作用します。適正量を守って、お酒を活用してください。

お酒は付き合い方を間違えなければ、私たちの人生を豊かで味わい深いものにアシストしてくれる存在です。